

厚生福祉

時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社
昭和28年5月30日 第3種郵便物認可
毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)
購読料金 月額税込込み4,300円
本誌掲載記事・写真などの無断複写、複製、転載を禁じます。
©時事通信社2012
◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)
kousei-dokusha@jiji.com

目次

段位認定制度を導入 介護職員に今秋から一政府.....	2
0157 関連情報	3
0157で100歳代女性死亡 ほか	
9割超が脱原発訴え 「悲惨な状況見て」一福島でエネルギー意見聴取会.....	4
学会・医療情報	5
105歳以上からiPS細胞/軽い運動で脳神経増加 ほか	
小水力発電で登録制度導入 参入促進へ河川法改正一国交省.....	6
地域を支える(長野県)	7
中央省庁ニュース	8
再生戦略に最大4兆円/介護施設への転換支援を延長 ほか	
進言(高知県)	9
特集 好転したのか、公立病院の経営状況 ② 現場では何が議論され、課題となっているのか.....	10
新刊図書の中から	17
ニュースフラッシュ	18
【福祉・健康】災害弱者に割引価格の防災用品/児童虐待で検証チームが初会合 ほか【医療・保健】保健所で住民票など交付/小・中学生に生活習慣病健診【環境・ゴミ】レアメタルの回収策を検討 ほか	

蜂蜜屋のおつちゃん

岩手県宮古市の中心地から車で一時間も走った盛岡寄りの大峠という地に養蜂場がある。

前宮古市長の熊坂医師からお土産にその蜂蜜をもらい、また早池峰に伝承されている神楽を記録した映画「早池峰の賦」を見た記憶から、この蜂蜜が早池峰産であることもあって愛用するようになった。

話は変わるが、宮古市では世界的指揮者小澤征爾さんの門下生四人による演奏会が毎年行われており、被災後も継続している。私たちも組織を挙げて津波被害によって親を亡くした子供たちの支援などを行っているので、今年もグループの職員七人で演奏を聴きに行った。素晴らしい音楽を聴い

社会福祉法人新生活会
名誉理事 長・石原美智子



た後、演奏者の宿舎になっていた院長宅で彼らを囲いでの懇親会になった。

あれこれ楽しい話題で賑わっている中で、明日の帰路に大峠養蜂場へ寄って蜂蜜を購入すると言うと、院長夫人が目を見開いて「片道一時間もかけて蜂蜜を買いに行ったのに、おじさんに叱られた」と言う。熊坂さんも「あそこのおつちゃんは頑固おやじで、これが欲しいと言っても、こつちの方がいいと聞かない」「蜂蜜の話になったら一時間でも二時間でも放してもらえない」など、蜂蜜へのこだわりの強いおつちゃん談義に花が咲き、夜中まで盛り上がった。

どうも、この地では蜂蜜屋のおつちゃんは変わ

り者で、頑固で、とつても怖い存在らしい。それでも美味しくて良質なおつちゃんの蜂蜜を求めて一時間の道のりを走っていくのは、おつちゃんが単なる頑固おやじではない証拠である。どうも、プロとして自分の良心に恥じない蜂蜜を販売しているらしい。

世を挙げて、大きなもの、大きなところへ人もお金も流れ、国の政策や支援もそれらに偏りがちだが、本当はこのような、小さいけれど本物にこだわってコツコツと質を追求する人々が国造りの根底には必要なのだ。

地方が疲弊しないように、善意の人が損をしないように、質を評価する人々が少なくならないように、どのような仕掛けをしていけばいいのか。何とも豊かな甘さのおつちゃんの蜂蜜を嘗めながら考えるこの頃である。